

第2510地区 第11グループ



2006~2007

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

# 函館北ロータリークラブ会報

2006~07年度  
国際ロータリーのテーマ

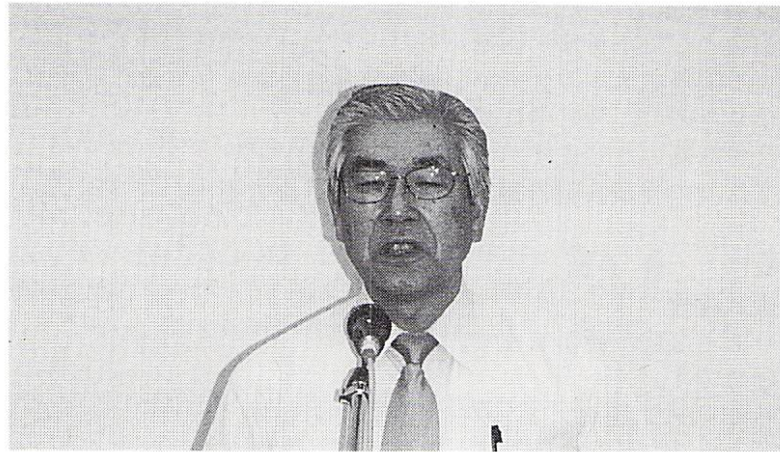
## 率先しよう



2006~07年度  
国際ロータリー会長

ウィリアム B. ボイド

柴崎 晃 会長テーマ — 今、出来る事から始めよう —



6月6日卓話 松見 修二 会員

### 《第2108回例会》 第45号 6月13日(水)

#### 本日のプログラム

#### 夜間例会「柴崎会長 お疲れ様パーティ」

函館ハーバービューホテル 午後6時30分～

★会長 柴崎 晃 ★幹事 山下清司

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151  
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局：函館市大手町5-10 ニチロビル4F TEL23-3870

心を示してください。おなかを空かせた人に食事を持って行けば、おなかを満たすことができますが、さらに食卓をともにするなら、その人の心をも満たすことができます。

私たちはみな、ポリオ・プラスや3-H補助金や、多くの人々を支える大規模なプロジェクトなど、ロータリーの業績を誇りに思っています。しかし、友人のために用事を引き受けたり、隣人に手を貸したりといったような、日常の些細な行動も等しく大切です。そのようなささやかな行為を、ワーズワースは詩の中で次のように詠っています。「善き人の人生の中で最良たるもの、それはだれも覚えていないような、名もなきささやかな親切と愛の行為」

私たちを感動させるロータリーの親切心と愛とは、理屈とはかけ離れたものです。それは、公式や貸借対照表などでは表すことのできないものです。愛と親切心こそがロータリーを可能にしているのです。ロータリーは、私たちの手と心とが成し遂げる仕事を通じて示される愛ゆえに素晴らしいと言えるのです。ロータリアンとして、私たちはただ口先で人類愛を語るだけではありません。ロータリアンである私たちは、その愛を実践し、分かちあい、互いに助け合うのです。

こういった理由から、2007-08年度のテーマを「ロータリーは分かちあいの心」としました。

思いやる気持ちがロータリーに分かちあいの心をもたらし、ニーズを知ればこそ、ロータリーは分かちあい、「超私の奉仕」を実践すればこそ、ロータリーに分かちあいの心が生れるのです。

このテーマを選ぶにあたって、ロータリーがどれだけ分かちあっているかを振り返ってみました。私たちは、私たちの時間と才能とお金をニーズを抱えた人々と分かちあっています。また、親切心や愛を分かちあっています。ロータリーにおける分かちあいとは、自分自身に不要となったものを施すことではありません。分かちあいとは、人のために我を忘れて自らを捧げることです。

来たる年度、皆さん一人ひとりにロータリーと分かちあえるものは何かを考えていただきたいと思います。

(会報担当者：藤田 正男 委員)

医療法人社団 藤 紀 会	
<b>齊 藤 内 科 医 院</b>	
消化器科	
院 長 齊 藤 紀 一	
函館市万代町 1-13 (ダイエー万代店横)	
TEL (0138) 45-1118 (代)	

(広告掲載：齊藤 紀一 会員)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

## ◎ 5月23日出席報告

会 員	31名	出席率対象会員	30名
		出席規定免除会員	1名
		出席率規定免除会員	0名
当日出席	12名	当日欠席	8名
他クラブ出席	5名	出席合計	27名
出席率		90.00%	

・ テレフォンサービス(例会移動案内)電話 26 - 3170 番

次回・6月20日  
プログラム

「各委員長退任挨拶」

6月6日の記録

◎司 会 柴崎 晃 会長      ◎斉 唱 君が代、それでこそロータリー、四つのテスト

★誕生祝 松橋会員・紫前会員(21日)、薮下会員(28日)

★結婚祝 中川会員(1日)、南木会員(7日)、西尾会員(25日)

◎会長挨拶 柴崎 晃 会長

- 既にご承知の通り、石橋会員のご母堂様が6月1日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
- ガバナー事務所が7月1日より札幌大通りの藤井ビル3Fに開設することになりました。
- 前函館市長の井上博さんから、満期退任のご挨拶状が届いております。又、新西尾函館市長さんからも就任のご挨拶状が届いております。

◎委員会報告

●会報委員会 弗田 和則 委員長

次年度からボラロイドカメラからデジタルカメラに切り替えることになり、本日深瀬会員がデジタルプリンターをもってきましたので、どのように出るかテストをしたいと思います。

◎幹事報告 山下 清司 幹事

- 次週の例会は夜間例会としてホテル・函館ハーバービューで開催いたします。
- 今年度の誕生祝として国際ホテルのケーキ引換券をお渡しいたしておりますが、まだ引き換えていない会員が多数おりましたので、今月中に交換願います。
- 例会終了後、理事会を開催いたします。
- 2006-2007年度の委員会報告書は、6月15日まで提出して下さい。

◎親睦活動委員会 成田 豊 委員

ニコニコBOX投入報告

柴崎 会長……残りあと3回、頑張ります。

山下 幹事……月始めです。

深瀬 会員……さっそくデジカメプリンターためしてみます。

森 会員・阿部会員・泉 会員・成田会員・渡部会員・弗田会員・西尾会員・松見会員・小笠原会員  
中川会員・新 会員……月始めです。BOXに協力。

増山会員・増田会員……会長・幹事あと1ヶ月頑張ってください。

薮下会員・松橋会員……今月誕生月です。

◎クラブアッセンブリー 松見 修二 会員

昨日、東ロータリークラブにて卓話を頼まれ行ってまいりました。

次年度の新世代の話とCLPの話、そして今進行中の規定審議会の話をしてきました。

今テーブルの上に新世代奉仕の手引書がありますが、現在の新世代委員長の細川さんがおつくりになったものです。中味は大変充実してまして各クラブで新世代のプログラムとしてなされたものを報告として写真付きで載せております。ぜひ見ていただきたいと思います。

交換留学生の話として、出たものでは、小樽R.C.で交換学生を受け入れたいと申請したところ、受け入れる学校がなかったということでもう少し慎重に、又各学校に働きかけることが大事ではないかという意見が出ておりました。

又、前回、次年度の委員長・副委員長会議は大変よかったと思います。クラブアッセンブリーのようでありました。



今度、アッセンブリーという名称がフォーラムに変わると思います。(一部省略)  
次に2007年国際協議会講演集より、次期RI会長予定者のお話をご紹介します。

## ロータリーは分かちあいの心

ウィルフリッド J. ウィルキンソン  
RI会長エレクト

ロータリーとはまったくもって驚くべき存在です。

私はずいぶん長い間ロータリアンをやっていますが、44年目にもなりますと、ロータリアンであることが当たり前前に思えてくることがあります。そこでは時折歩みを止めて、ロータリーがいかに素晴らしいかということを感じておこうとしています。このような習慣は、ロータリーに長く在籍している人にとっては意味のあるものではないでしょうか。

ロータリーのおかげで、家族と仕事と地域社会を主軸として暮らしている皆さんや私のような人々が、日常生活の枠を超えて、それ以上の何かを求める機会に恵まれます。ロータリーのおかげで、見知らぬ人々に対して心を開き、何千マイルも離れた地域に自分の地元と変わらぬ愛を注ぐような人間になれるのです。なぜなら、ロータリーとはだれかれの区別なしにすべての人類に向けられる人類愛にほかならないからです。ロータリーは、その人類愛を表現し、分かちあう術を授けてくれるのです。

私たちは、クラブ奉仕を通じて分かちあいますが、クラブはいわばロータリーの手となる存在です。ロータリー・クラブがなければ、ロータリーは存在しません。ですから私たちは、全員を表彰し、苦境にある会員に手を貸し、物故会員の配偶者と連絡を保つことにより、クラブの充実化に努めるのです。また、クラブが常に開放的で親しみに溢れ、資格を有する人であればどんな人でも会員として迎え入れることのできる環境づくりに徹しています。

私たちが職業奉仕を通じて愛を分かちあうのは、自らの職業を通して私たちはロータリーの声となれるからです。私たちはまた、研修、専門的な知識や能力、特技をも分かちあいます。そして、取引や仕事上の決定を行う際には必ずロータリーの倫理観に照らすよう自らを律します。

私たちが社会奉仕を通じて愛を分かちあうのは、社会奉仕がロータリーの心臓部だからです。私たちが地元のニーズに取り組むのは、私たちの第一の責務が地元地域にあるからです。「ロータリーはよいことをしてくれる」と言ってもらえるよう、地域社会でその存在観を高める努力を惜しみません。そして、これらの人々の中から会員になりたいという人が出てくることもあるでしょう。

私たちが国際奉仕を通じて愛を分かちあうのは、それぞれの国において一人ひとりがロータリーの目の役割を果たしているからです。地元地域のニーズとその援助の方法を見定めるために地元社会について知るのが、私たちの仕事です。その上で、地元だけでは賄いきれないとなれば、世界中のロータリアンから援助を求めることができます。

私たちが青少年活動を通じて愛を分かちあうのは、青少年はロータリーだけでなくすべての人々にとっての未来であるからです。青少年プログラムの強化に努めることにより、今日ここにいる私たちがやがて席を譲る日がやって来たときに、強い責任感と倫理観を持つボランティア志向の新世代が、この会場の席を埋め尽くしてくれるはずで、これらの若い人々は、私たちのほかに広がるロータリーの未来への懸け橋なのです。

そして私たちは会員増強を通じて愛を分かちあいます。どんなに多くの業績を数え挙げてみたところで、新しい会員を増やし、既存会員を維持し続けることができなければ、ロータリーは生き残れません。

ボイド会長が折に触れおっしゃっている通り、「率先しよう」と言うからには、自らが模範を示さなくてはなりません。その意味で、私は皆さんがこの協議会に出向かれる前に、新会員1名を入れるようお願いいたしました。また、クラブ会長にも就任年度内に新会員1名を入会させるよう皆さんからお願いしていただきたいと申し上げました。私たちは、迎え入れた新会員を責任を持って支え、やがては自らが新会員を入会させることのできるまでに、ロータリーの中で成長していけるよう見守っていく必要があります。

来年度、私はボイドRI会長の強調事項である水保全、保健および飢餓救済、識字率向上を引き継ぐ所存です。数年間にわたりロータリーの取り組みの最前線に置かれてきたこれらの基本的ニーズを続けていきたいと私が思うのは、きれいな水と健康と読み書きの能力が授かれば、多くの人々に自助自立の道が開かれるからです。ロータリー家族というもう一つの強調事項も引き継いでいくつもりです。それは、互いを思いやり助け合うことで、ロータリーが末永く存続し、意義ある活動を続けることのできるからです。

これらのニーズに取り組むときは、どうか、ロータリーの真髓が愛であり、その発露が親切心であることを思い起こしてください。家族や仲間同士、地域社会、そして特に援助を受ける側の人々と接する際には、どうか親切